# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010201

| まちづくりの目標 | 第2章 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | こども福祉部長 |
|---|---|---|---|
| 基本事項 施策名 | 第1節 共に支え合う地域福祉の推進 | 所管部署名 | こども福祉部地域福祉課 |
| 施策の展開 | 1 (1)支援体制の構築<br>2 (2)地域福祉活動の支援<br>3 (3)福祉意識の醸成 | 関連部署名 | |
| 関連する個別計画・方針等 | きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言<br>第4次吉川市地域福祉計画<br>第2次吉川市自殺対策計画 | 施策の目的 | ・地域における一人ひとりの主体的な支え合いにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる社会をめざします。 |

| 施策成果指標 | 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ゲートキーパー養成研修受講者数 | 人 | 19 | 225 | 150 | 150 | 150 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R4～R8 |
| | 社会福祉協議会のボランティアセンター登録者数 | 人 | 553 | 930 | 600 | 155 | 600 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | 助け合い、支え合う地域であると感じる市民の割合（市民意識調査） | % | － | 55.6 | 50 | 111.2 | 50 |
| | | | － | R7 | R7 | R7 | R8 |

| 施策の評価 | 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|
| | 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☑ 順調<br>☐ おおむね順調<br>☐ やや順調でない<br>☐ 順調でない | ゲートキーパー養成研修等延べ受講者数・社協ボランティアセンター登録者数・助け合い、支え合う地域であると感じる市民の割合（市民意識調査）いずれも目標値を達成できている。 | 4 |
| | 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☑ 反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | ゲートキーパー養成研修等においては、研修実施後にアンケートを実施し改善を行いながら毎年度事業展開している。 | 4 |
| | 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☑ 妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容であり、引き続き事業を継続する。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 4 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| ・自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることができるよう人材を育成するため、平成24年度からゲートキーパー養成研修を、令和6年度からSOSを受け止めるスキルの向上研修を継続して実施している。自殺対策では、このような人材を増やしていくことが重要であり、引き続き研修を実施していくことが必要である。<br>・市民意識調査における「助け合い、支えあう地域であると感じる割合」が減少傾向ではあるが、50%を超える実績値を確保している。ボランティアセンター登録者数の増加等、地域のために何かをしたいという市民意識は高まってきている。 | A：施策の目的が達成されている |

| 今後の展開 |
|---|
| ・自殺を他人事ではなく、自分事と捉えるような意識づけを図ることで自殺対策の強化にも繋がることから、研修参加への周知を様々な関係機関に図っていく。また、全国的に自殺者数が減少傾向ではあるが、小中高生の自殺者数が増加していることから、教育関係者や相談支援員等がSOSを受け取り対応する力をさらに向上させることが大切であるため、そのようなスキルを高める研修を引き続き実施していく。 |

10010201

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000083 | 地域福祉計画推進事業 | 基本計画事業実施数 | 事業 | 130 | 136 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000084 | 福祉有償運送推進事業 | 登録事業者数 | 事業者 | 1 | 1 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000400 | 一人暮らし高齢者等見守り事業 | あんしん救急キット配付率 | % | 80 | 65.5 | 現状のまま継続 |
| 4 | 01000437 | 自殺対策事業 | ゲートキーパー養成研修受講者数 | 人 | 70 | 74 | 改善の上で継続 |
| 5 | 01000732 | 要援護者見守りネットワーク事業 | 協定事業所数 | 事業所 | 155 | 154 | 現状のまま継続 |
| 6 | 01000802 | 包括的支援体制構築事業 | 重層的支援体制の移行に向けた体制整備 | 件 | 3 | 3 | 現状のまま継続 |
| 7 | 01000077 | 民生委員・児童委員活動推進事業 | 民生委員・児童委員数 | 人 | 123 | 107 | 現状のまま継続 |
| 8 | 01000078 | 社会福祉協議会支援事業 | 社協が実施した事業数 | 事業 | 66 | 68 | 改善の上で継続 |
| 9 | 01000080 | 更生保護活動支援事業 | 「社会を明るくする運動」大会参加者数 | 人 | 90 | 140 | 現状のまま継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010202

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| まちづくりの目標 | 第2章 | 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | 健康長寿部長 | |
| 基本事項 | 施策名 | 第2節 いきいき暮らせる高齢者福祉の推進 | 所管部署名 | 健康長寿部長寿支援課 | |
| | 施策の展開 | 1 (1)高齢者の社会参加の促進 | 関連部署名 | | |
| | | 2 (2)地域の支え合いの向上 | | | |
| | | 3 (3)高齢者の日常生活の支援 | | | |
| | | 4 (4)介護予防の充実 | 施策の目的 | ・生きがいを持って、高齢者が元気で活躍することをめざします。<br>・地域のつながりの中で、高齢者が安心して住み慣れた地域で自立した生活ができることをめざします。 | |
| | | 5 (5)介護保険事業の充実 | | | |
| | 関連する個別計画・方針等 | 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 | | | |

| 施策成果指標 | 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 75歳から79歳の要介護認定率 | % | 12.5 | 10.8 | 12.5 | 113.6 | 12.5 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | 高齢者福祉の取組に対する市民満足度（市民意識調査） | % | 58.6 | 58 | 59 | 98.3 | 60 |
| | | | R3 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 施策の評価 | 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|
| | 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☑ おおむね順調<br>☐ やや順調でない<br>☐ 順調でない | 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各事業を進めている。健康づくり・体力づくりの習慣化と健康への市民理解の促進のため、いきいき運動教室や地域住民主体のサロンを支援し住民の社会参加に取り組んだ。 | 3 |
| | 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | 令和5年度に実施した「吉川市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査」において市民ニーズを把握し、第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画を策定し、事業を実施している。 | 3 |
| | 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☐ 妥当であった<br>☑ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 高齢者の自立を支援し、尊厳を守るため、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護給付等対象サービスの充実、高齢福祉サービスの充実に取り組み妥当である。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 3 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| 令和22年（2040年）、いわゆる団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎え、介護ニーズの高い85歳以上の人口も急速に増加し、医療・介護両方のニーズを有する高齢者など、様々な課題を抱えた要介護高齢者が増加する一方で、生産人口が急減することが見込まれている。こうしたなか、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域共生社会の実現に向けて、包括的な支援体制の整備が求められている。地域の課題解決のためには、地域住民と行政との協働による地域としての対応が必要であり、地域支援の担い手の養成が課題となっている。 | B：施策の目的が概ね達成されている |

| 今後の展開 |
|---|
| 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、事業を実施するとともに、2040年に向けた中長期的なサービス提供量を推計し、取り組むべき施策として次期計画を策定する。 |

10010202

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000115 | 高齢者生きがいづくり事業 | スポーツ大会延べ参加者数 | 人 | 50 | 54 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000116 | シルバー人材センター支援事業 | 就業実績契約金額 | 円 | 234,000,000 | 177,545,728 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000123 | 老人福祉センター運営事業 | 老人福祉センター利用者数 | 人 | 25,000 | 23,084 | 現状のまま継続 |
| 4 | 07000007 | 介護相談員活動事業 | 介護相談員訪問率 | % | 100 | 100 | 現状のまま継続 |
| 5 | 07000033 | アクティブシニア社会参加支援事業 | シニア元気塾たまり場参加者数 | 人 | 350 | 314 | 現状のまま継続 |
| 6 | 01000550 | コミュニケーション支援事業 | 手話講習会修了率 | % | 80 | 78 | 現状のまま継続 |
| 7 | 01000829 | 障がい者理解促進事業 | あいサポーター育成人数 | % | 120 | 88 | 現状のまま継続 |
| 8 | 01000920 | 生活支援体制整備事業 | 生活支援コーディネーター活動件数 | 回 | 35 | 37 | 現状のまま継続 |
| 9 | 01000103 | 老人福祉施設措置事業 | 老人福祉施設入所措置者数 | 人 | 1 | 0 | 現状のまま継続 |
| 10 | 01000104 | 介護福祉推進協議会運営事業 | 協議会出席率 | % | 100 | 84.61 | 現状のまま継続 |
| 11 | 01000107 | 日常生活用具給付事業 | サービス利用者数 | 人 | 20 | 17 | 現状のまま継続 |
| 12 | 01000108 | 緊急時通報システム貸与事業 | 緊急時通報システムの稼働件数 | 件 | 300 | 252 | 現状のまま継続 |
| 13 | 01000109 | 外出支援サービス事業 | サービス延べ利用回数 | 回 | 200 | 149 | 現状のまま継続 |
| 14 | 01000112 | 在宅高齢者介護支援手当支給事業 | 手当支給総額 | 円 | 540,000 | 414,000 | 現状のまま継続 |
| 15 | 01000533 | 生活支援ショートステイサービス事業 | サービス延べ利用日数 | 日 | 5 | 0 | 現状のまま継続 |
| 16 | 01000801 | 介護支援用品支給事業 | 給付総額 | 円 | 2,376,000 | 2,155,593 | 現状のまま継続 |
| 17 | 01000919 | 地域包括支援センター事業 | 地域包括支援センター相談件数 | 件 | 3,255 | 2,673 | 現状のまま継続 |
| 18 | 07000018 | 成年後見人利用支援事業 | 審判請求を行った件数 | 件 | 3 | 3 | 改善の上で継続 |
| 19 | 07000020 | 位置情報提供サービス利用支援事業 | 位置情報提供システム利用者数 | 件 | 2 | 2 | 廃止・休止 |
| 20 | 07000031 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | 新たに総合事業を実施する団体数 | 団体 | 2 | 0 | 現状のまま継続 |
| 21 | 07000034 | 高齢者世帯賃貸住宅家賃助成事業 | 家賃助成金支給総額 | 円 | 9,229,000 | 8,032,048 | 現状のまま継続 |
| 22 | 07000035 | 高齢者配食サービス事業 | 配食サービス延べ実数 | 食 | 48,890 | 43,713 | 廃止・休止 |
| 23 | 07000005 | いきいき運動教室等介護予防事業 | 介護予防教室参加者率 | % | 98 | 91 | 現状のまま継続 |
| 24 | 07000017 | 地域型介護予防事業(特別会計) | フレイルチェックの実施回数 | 回 | 3 | 3 | 現状のまま継続 |
| 25 | 07000030 | 認知症総合支援事業 | 認知症サポーター人数 | 人 | 500 | 604 | 現状のまま継続 |
| 26 | 01000918 | 地域型介護予防事業(一般会計) | 地域型介護予防事業実施団体 | 団体 | 50 | 43 | 現状のまま継続 |
| 27 | 01000118 | 介護保険利用料助成事業 | 年度負担補助総額 | 千円 | 17,939 | 17,806 | 改善の上で継続 |
| 28 | 07000001 | 事業所指定・指導監督事業 | 市指定の事業所で発生した重大な介護事故件数 | 件 | 0 | 0 | 現状のまま継続 |
| 29 | 07000002 | 介護保険賦課徴収事業 | 現年度保険料収納率 | % | 99.5 | 99.5 | 現状のまま継続 |
| 30 | 07000003 | 介護認定審査事業 | 延期通知の割合 | % | 2 | 3.2 | 現状のまま継続 |
| 31 | 07000004 | 介護保険給付事業 | 介護保険給付費 | 千円 | 4,601,963 | 4,373,955 | 現状のまま継続 |
| 32 | 07000024 | 介護給付適正化事業 | ケアプランチェックの実施件数 | 件 | 20 | 20 | 現状のまま継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010203

| まちづくりの目標 | 第2章 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | こども福祉部長 |
|---|---|---|---|
| 基本事項 施策名 | 第3節 互いに尊重し合う障がい福祉の推進 | 所管部署名 | こども福祉部障がい福祉課 |
| 施策の展開 | 1 (1)障がい者の社会参加の促進 | 関連部署名 | 健康長寿部健康増進課 |
| | 2 (2)地域の支え合いの向上 | | |
| | 3 (3)障がい者の地域生活の支援 | | |
| | 4 (4)適切な保健・医療と療育の提供 | | |
| | | 施策の目的 | ・障がいのある方もない方も、互いに尊重しながら、障がい者が地域の中で安心して暮らせる社会をめざします。 |
| | | | |
| | | | |
| 関連する個別計画・方針等 | 第5次吉川市障がい者計画 | | |
| | 第7期吉川市障がい福祉計画 | | |
| | 第3期吉川市障がい児福祉計画 | | |
| | | | |
| | | | |

| 施策成果指標 | 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 市内グループホームの定員 | 人 | 42 | 110 | 57 | 193 | 60 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | あいサポーター育成人数 | 人 | 229 | 825 | 2,669 | 30.9 | 3,000 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | 就労移行率（就労支援センターの利用者のうち、就労できた方の割合） | % | 69.4 | 74 | 78.2 | 94.6 | 80 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |

| 施策の評価 | 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|
| | 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☑ おおむね順調<br>☐ やや順調でない<br>☐ 順調でない | 関係機関と連携し相談体制の充実に努めており、障がい者や障がい児、その介護者などのそれぞれの状況に合った障害福祉サービスの利用などにつなげている。<br>また、障がいに対する理解促進や、障がい者の社会参加の促進に向けて継続的に取り組んでいる。 | 3 |
| | 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | 市民意識調査における「吉川市の取り組みについての満足度」において課題となっている「障がい者に対する理解」や「障がい者の施設などの整備」について、理解促進の取組やユニバーサルデザインによるまちづくりを進めている。 | 3 |
| | 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☑ 妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 障がいのある方もない方も、互いに尊重し合いながら、共に助け合い地域で安心して暮らし、誰もが幸せを実感できるまちをつくるための事務事業で構成されており妥当である。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 4 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| ・全国的に障害者手帳所持者数は増加しており、当市においては、身体障害者手帳所持者はやや減少の傾向にあるが、療育手帳・精神保健福祉手帳所持者は年々増加し続けている。<br>・障がい者（児）の増加に伴い、様々な相談が寄せられており、障がい者の就労支援やグループホーム、障がい児の通所事業などのニーズが高まっており、市内でもこれらの施設が増加してきている。<br>・市民意識調査において、「障がい者福祉への取り組み」について「不満」との回答が一定割合あり、その理由として障がい者（児）のための施設等の整備が進んでいないことや、障がい者への理解の不足が挙がっている。 | B：施策の目的が概ね達成されている |

| 今後の展開 |
|---|
| ・障がい者の社会参加の促進や地域の支え合い、障がい者の地域生活を支援するため、スポーツや芸術などによる交流事業をはじめ、就労促進支援金制度を活用した就労支援や、市民と触れ合いながら活躍できる就労の場所づくり、あいサポート運動による障がい者理解の促進、相談支援体制の充実などに引き続き取り組んでいく。<br>・適切な保健・医療、療育を提供するため、関係機関と連携しながら障がい者の健康や機能の維持を図るとともに、こども発達センターを中心に、関係機関と連携し、子どもの療育とその保護者への相談支援に取り組んでいく。 |

10010203

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000091 | 地域活動支援センター事業 | センターの利用日数 | 日 | 1,000 | 964 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000094 | 福祉タクシー・自動車燃料助成事業 | 利用件数 | 件 | 26,000 | 25,767 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000545 | 障がい者就労支援事業 | 吉川市就労支援センター就労人数 | 人 | 30 | 25 | 現状のまま継続 |
| 4 | 01000548 | 障がい者交流促進事業 | 屋内スポーツ大会参加者数 | 人 | 100 | 95 | 現状のまま継続 |
| 5 | 01000553 | 生活訓練事業 | 生活訓練等事業の参加回数 | 人 | 50 | 93 | 現状のまま継続 |
| 6 | 01000554 | 移動支援事業 | 移動支援事業利用時間（総数） | 時間 | 1,500 | 1,433.5 | 現状のまま継続 |
| 7 | 01000086 | 障がい者相談支援事業 | 相談実施件数 | 件 | 5,100 | 5,575 | 現状のまま継続 |
| 8 | 01000088 | 在宅重度心身障害者手当支給事業 | 手当支給額 | 千円 | 32,510 | 29,100 | 現状のまま継続 |
| 9 | 01000092 | 緊急時通報体制整備事業 | 利用者数 | 人 | 4 | 3 | 現状のまま継続 |
| 10 | 01000093 | 入浴サービス事業 | 利用回数 | 回 | 500 | 476 | 現状のまま継続 |
| 11 | 01000097 | 障がい者計画推進事業 | 吉川市障がい者計画実施率 | % | 100 | 96.1 | 現状のまま継続 |
| 12 | 01000099 | 成年後見人制度利用助成事業 | 市長申立て件数 | 件 | 1 | 1 | 現状のまま継続 |
| 13 | 01000100 | 介護給付審査事業 | 障害支援区分認定審査件数 | 件 | 140 | 117 | 現状のまま継続 |
| 14 | 01000101 | 介護・訓練等給付事業 | 居宅介護利用時間数 | 時間 | 7,000 | 8,266 | 現状のまま継続 |
| 15 | 01000546 | 特別障害者手当等支給事業 | 特別障害者手当等支給額 | 千円 | 30,000 | 28,124 | 現状のまま継続 |
| 16 | 01000547 | 障害者手帳交付支援事業 | 身体障害者手帳所持者数 | 人 | 1,710 | 1,679 | 現状のまま継続 |
| 17 | 01000555 | 障がい児(者)一時介護支援事業 | 日中一時支援利用者数 | 人 | 560 | 518 | 現状のまま継続 |
| 18 | 01000821 | 障がい者安心暮らしサポート基金積立事業 | 寄付金額 | 円 | 200,000 | 170,739 | 現状のまま継続 |
| 19 | 01000828 | 障がい者福祉施設支援事業 | 葭の里の利用者数（生活介護・就労継続B型） | 人 | 70 | 60 | 現状のまま継続 |
| 20 | 01000096 | 障がい者（児）日常生活用具給付事業 | 日常生活用具給付件数（障がい者） | 件 | 1,300 | 1,365 | 現状のまま継続 |
| 21 | 01000087 | 重度心身障害者医療費給付事業 | 支給金額 | 千円 | 133,424 | 115,518 | 現状のまま継続 |
| 22 | 01000089 | 自立支援医療支給事業 | 更生医療給付総額 | 円 | 66,888,000 | 67,611,708 | 現状のまま継続 |
| 23 | 01000090 | 補装具費支給事業 | 補装具給付件数（障がい者） | 件 | 70 | 78 | 現状のまま継続 |
| 24 | 01000685 | 発達障がい児（者）支援事業 | 子どもの発達支援巡回事業実施人数 | 人 | 120 | 125 | 現状のまま継続 |
| 25 | 01000693 | こども発達センター運営事業 | 利用者数 | 人 | 2,100 | 1,601 | 改善の上で継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010204

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| まちづくりの目標 | 第2章 | 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | こども福祉部長 | |
| 基本事項 | 施策名 | 第4節 市民に寄り添う自立支援と社会保障 | 所管部署名 | こども福祉部地域福祉課 | |
| | 施策の展開 | 1 (1)生活保護制度の適正な運用 | 関連部署名 | 総務部収納課 | |
| | | 2 (2)生活困窮者自立支援事業の充実 | | 健康長寿部国保年金課 | |
| | | 3 (3)国民健康保険給付の適正化 | | | |
| | | 4 (4)国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の健全な運営 | | | |
| | | 5 (5)国民年金の制度周知 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | 関連する個別計画・方針等 | 吉川市国民健康保険財政健全化計画 | 施策の目的 | ・生活を保障するとともに、経済的自立や日常生活の自立、社会生活の自立を支援します。<br>・医療保険制度の健全で安定的な運営をめざします。<br>・老後の生活を支える年金制度の理解が深まることをめざします。 | |
| | | 第3期吉川市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期吉川市国民健康保険特定健康診査等実施計画 | | | |
| | | | | | |

| 施策成果指標 | 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 生活保護受給者と生活困窮者のうち、就労を契機に生活の自立を達成した方の割合 | % | 17.7 | 27.7 | 18.1 | 153 | 18.2 |
| | | | R1 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | 国民健康保険税の収納率（現年分） | % | 95.2 | 94.9 | 96.2 | 98.6 | 96.5 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 施策の評価 | 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|
| | 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☑ おおむね順調<br>☐ やや順調でない<br>☐ 順調でない | ・支援対象者はやや増加傾向にあるものの、各種支援制度に併せて、一人ひとりの現状に合わせた就労支援が功を奏し、実績値は目標値を大きく上回った。<br>・収納率は、令和4年度は向上したものの、令和5年度は、前年度を下回り、令和6・7年度はほぼ横ばいである。 | 3 |
| | 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | ・就労支援の対象となる方々の中には、複合的な課題を抱える方もいるが、相談を丁寧に受け、親身な対応を心掛ける中で自立につなげていくことが出来た。<br>・医療保険制度の安定的な運営を図るため、適正な滞納整理を行い財源確保を行った。 | 3 |
| | 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☑ 妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 事務事業の構成としては、施策の目的を達成するのに十分な内容であり、引き続き事業を継続する。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 4 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| ・就労稼働年齢層で就労が可能と思われる生活保護や生活困窮の方々に対して、困窮状態からの自立を目指した支援を行った。一方で、様々な課題を抱えている方々もいるので、引き続き、丁寧な相談と親身な対応に努め、一人でも多くの方の自立へとつなげる。<br>・国保税収納率の向上には、不断の取り組みが必要であり、これからも適時適切な滞納整理が必要である。 | A：施策の目的が達成されている |

| 今後の展開 |
|---|
| ・生活保護や生活困窮の方々に対しては、自立に向けた支援を引き続き実施していく。特に生活困窮者自立支援法については、国による法改正や通知が頻繁に実施されることから、国の動向を注視しながら支援が円滑に行えるよう漏れなく情報収集を行い支援していく。<br>・医療保険制度の安定的な運営のため、県と連携し、財源の確保を図るとともに、健康保険制度の改正について国や県の動向を注視するとともに情報収集に努めていく。 |

10010204

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000154 | 生活保護運営事業 | 新規申請のうち法定期限内（30日以内）処理件数の割合 | % | 100 | 100 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000155 | 生活保護支給事業 | 生活保護自立世帯数 | 世帯 | 60 | 40 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000433 | 生活保護受給者等就労支援事業 | 生活自立者数 | 人 | 30 | 23 | 現状のまま継続 |
| 4 | 01000402 | 住居確保給付金給付事業 | 住居確保給付金受給者のうち就職によって支給の中止・満了となった人数の割合 | % | 50 | 50 | 現状のまま継続 |
| 5 | 01000648 | 生活困窮者子どもの学習支援事業 | 子どもの学習支援教室参加者（3年生対象）の希望進路達成率（中学生） | % | 100 | 100 | 改善の上で継続 |
| 6 | 01000649 | 生活困窮者自立相談支援事業 | 支援終結者数 | 人 | 60 | 69 | 現状のまま継続 |
| 7 | 03000001 | 国民健康保険資格管理事業 | 資格適正化実施率 | % | 60 | 64.27 | 現状のまま継続 |
| 8 | 03000005 | 趣旨普及事業 | ハンドブック配布率 | % | 99 | 99.9 | 現状のまま継続 |
| 9 | 03000010 | 審査支払事業 | 被保険者1人当たりの審査支払手数料 | 円 | 770 | 668 | 現状のまま継続 |
| 10 | 03000017 | 出産育児一時金支給事業 | 被保険者1人当たりの給付費 | 円 | 1,687 | 1,094 | 現状のまま継続 |
| 11 | 03000018 | 葬祭費支給事業 | 被保険者1人当たりの支給額 | 円 | 533 | 376 | 現状のまま継続 |
| 12 | 03000031 | 特定健康診査等事業 | 特定健康診査受診者数 | 人 | 4,273 | 3,664 | 現状のまま継続 |
| 13 | 03000033 | 健康保持推進事業 | 保養所利用率 | % | 0.674 | 0.19 | 現状のまま継続 |
| 14 | 03000054 | 療養給付費給付事業 | 被保険者一人あたりの年間療養給付費 | 円 | 350,341 | 309,501 | 現状のまま継続 |
| 15 | 03000055 | 療養費支給事業 | 被保険者1人当たりの療養費支給額 | 円 | 3,167 | 3,408 | 現状のまま継続 |
| 16 | 03000056 | 高額療養費給付事業 | 被保険者1人当たりの年間高額療養費 | 円 | 55,189 | 51,545 | 現状のまま継続 |
| 17 | 03000058 | 移送費給付事業 | 1件当たりの移送費 | 円 | 55,000 | 0 | 現状のまま継続 |
| 18 | 03000002 | 連合会事業 | 当年度における要望の実現数 | 件 | 1 | 1 | 現状のまま継続 |
| 19 | 03000003 | 賦課徴収事業 | 未申告者のうち、申告をした人数の率 | % | 68 | 69.01 | 現状のまま継続 |
| 20 | 03000004 | 運営協議会事業 | 当年度における要望の実現数 | 件 | 1 | 1 | 現状のまま継続 |
| 21 | 08000001 | 広域連合納付事業 | 納付金の納付回数 | 回 | 14 | 14 | 現状のまま継続 |
| 22 | 08000005 | 後期高齢者医療特別会計運営事業 | 高齢者健康診査受診率 | % | 35 | 34.09 | 現状のまま継続 |
| 23 | 08000006 | 徴収事業 | 現年度分普通徴収保険料の収納率 | % | 99.1 | 98.84 | 現状のまま継続 |
| 24 | 99000021 | 国民健康保険事業費納付事業 | 一人あたり国民健康保険事業費納付金 | 円 | 152,296 | 149,966 | 現状のまま継続 |
| 25 | 01000157 | 国民年金被保険者資格管理事務事業 | 国民年金資格取扱件数 | 人 | 8,000 | 8,083 | 現状のまま継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010205

| まちづくりの目標 | 第2章 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | 健康長寿部長 |
|---|---|---|---|
| 基本事項 施策名 | 第5節 地域医療体制の充実 | 所管部署名 | 健康長寿部健康増進課 |
| 施策の展開 | 1 (1)医療情報の発信<br>2 (2)救急医療体制の充実<br>3 (3)在宅医療の推進 | 関連部署名 | 健康長寿部長寿支援課 |
| 関連する個別計画・方針等 | | 施策の目的 | ・誰もが適切な医療を受けられる環境の整備をめざします。 |

施策成果指標

| 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| かかりつけ医を持っている市民の割合（市民意識調査） | % | 57.7<br>R3 | 54.9<br>R7 | 64.5<br>R7 | 85.1<br>R7 | 65<br>R8 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

施策の評価

| 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|
| 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☐ おおむね順調<br>☑ やや順調でない<br>☐ 順調でない | かかりつけ医を持つ市民の割合は54.9%、達成率は85.1%で目標を下回った。<br>前年度からも低下しており、かかりつけ医の役割の周知と普及に課題が残る。 | 2 |
| 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | 身近で適切な医療を受けられるよう、医療情報の発信や救急医療体制の確保、在宅医療の推進に取り組んでいる。<br>かかりつけ医を持たない理由を踏まえ、情報提供を充実する必要がある。 | 3 |
| 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☐ 妥当であった<br>☑ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 救急医療体制の整備と在宅医療・介護連携等の事業で構成し、適切な医療を受けられる環境づくりに対応した事業構成となっている。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 3 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| かかりつけ医を持っている市民の割合は54.9%で、目標の64.5%を下回り、達成率は85.1%となった。<br>前年度の61.7%からも低下している。市民意識調査では、かかりつけ医を持たない理由として、必要とする病気になったことがないことや、病状等に応じて受診先を選んでいることが多い。<br>日常の健康相談や専門医への紹介など、かかりつけ医の役割の周知が課題である。<br>また、誰もが適切な医療を受けられる環境を維持するため、救急医療体制の確保と在宅医療の推進に向け、近隣市町や医療機関等との連携を継続するとともに、必要な医療につながるための情報提供を充実する必要がある。 | B：施策の目的が概ね達成されている |

今後の展開

市民意識調査で把握した、かかりつけ医を持たない理由を踏まえ、日常の健康相談や専門医への紹介など、かかりつけ医の役割と重要性について周知を図る。また、夜間・休日の診療や適切な受診方法に関する情報提供を充実するとともに、近隣市町や医療機関等と連携し、救急医療体制の確保に取り組む。あわせて、長寿支援課と連携し、在宅医療と介護の連携を推進する。

10010205

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000161 | 献血推進事業 | 達成率 | % | 100 | 90 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000644 | 骨髄移植ドナー支援事業 | 骨髄提供者数 | 人 | 2 | 1 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000164 | 救急医療体制整備事業 | 休日当番医救急受診者数 | 人 | 2,000 | 1,425 | 現状のまま継続 |
| 4 | 07000023 | 在宅医療と介護連携推進事業 | 吉川松伏多職種連携の会研修会・イベント等開催数 | 回 | 1 | 1 | 現状のまま継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010206

| まちづくりの目標 | 第2章 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | 健康長寿部長 |
|---|---|---|---|
| 基本事項 施策名 | 第6節 生涯を通じた健康づくりの推進 | 所管部署名 | 健康長寿部健康増進課 |
| 施策の展開 | 1 (1)生活習慣病予防の推進 | 関連部署名 | |
| | 2 (2)感染症予防の推進 | | |
| | 3 (3)食育の推進 | | |
| | 4 (4)歯科口腔保健の推進 | 施策の目的 | ・誰もが生涯にわたり心身ともに健康でいきいきと生活できることをめざします。 |
| 関連する個別計画・方針等 | きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言 | | |
| | 第3次吉川市健康増進計画 | | |
| | 第3次吉川市食育推進計画 | | |
| | 第2次吉川市歯科口腔保健推進計画 | | |
| | 吉川市新型インフルエンザ等対策行動計画 | | |

| 施策成果指標 | 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 特定保健指導実施率 | % | 60.4 | 34 | 62 | 54.8 | 62.5 |
| | | | R1 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | 吉川市が実施する肺がん検診受診率 | % | 4.4 | 6.2 | 5.7 | 108.8 | 6 |
| | | | R2 | R7 | R7 | R7 | R8 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

| 施策の評価 | 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|---|
| | 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☐ おおむね順調<br>☑ やや順調でない<br>☐ 順調でない | 肺がん検診受診率は目標を達成したが、特定保健指導実施率の達成率は54.8%と低く、前年度も下回った。<br>生活習慣病予防に向けた保健指導の利用促進と継続支援に課題が残る。 | 2 |
| | 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | 疾病の予防や早期発見に向け、健診・検診や保健指導等を実施し、市民の健康維持を支えている。保健指導の利用につながるよう、対象者に応じた働きかけが必要である。 | 3 |
| | 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☑ 妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 健診・検診、保健指導、運動の促進、予防接種、食育、歯科口腔保健など、生涯を通じた健康づくりを支える多角的な事業構成となっている。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 4 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| 肺がん検診受診率は6.2%で、目標の5.7%を上回り、達成率は108.8%となった。一方、特定保健指導実施率は34.0%で、目標の62.0%を大きく下回り、達成率は54.8%となった。前年度の39.4%からも低下している。<br>肺がん検診は受診機会の確保を継続し、特定保健指導は対象者への案内から初回アプローチ、継続支援、終了までの各段階について、利用状況と課題を確認する必要がある。未利用や中断の理由を把握し、利用しやすい実施方法や対象者に応じた勧奨・支援を検討することが課題である。 | B：施策の目的が概ね達成されている |

| 今後の展開 |
|---|
| 特定保健指導について、初回アプローチから支援終了までの利用状況を分析し、未利用や中断の理由を踏まえ、対象者に応じた利用勧奨や継続支援、利用しやすい実施方法を検討する。肺がん検診をはじめとする各種健診・検診は、受診機会の確保と効果的な受診勧奨に取り組む。また、運動、食育、歯科口腔保健、予防接種等の取り組みを通じ、乳幼児から高齢者まで、生涯にわたる主体的な健康づくりを支援する。 |

10010206

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000162 | 健康増進事業 | 大腸がん検診受診率 | % | 4 | 2.3 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000171 | 保健センター管理運営事業 | 修繕・改修を行った箇所 | 箇所 | 5 | 5 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000657 | 健康・体力づくりポイント制度事業 | 事業参加数 | 人 | 320 | 481 | 現状のまま継続 |
| 4 | 01000679 | ウォーキング推進事業 | ウォーキング教室アンケート集計結果 | % | 100 | 97.8 | 現状のまま継続 |
| 5 | 01000163 | 予防接種事業 | A類の予防接種率 | % | 100 | 93.7 | 現状のまま継続 |
| 6 | 01000165 | 8020推進事業 | コンクール表彰者数 | 人 | 36 | 36 | 現状のまま継続 |

# 令和8年度 施策評価シート（令和7年度評価）

令和8年9月30日

10010207

| まちづくりの目標 | 第2章 支え合う健やかなまちづくり（健康・福祉部門） | 評価責任者 | 健康長寿部長 |
|---|---|---|---|
| 基本事項 施策名 | 第7節 スポーツでつながるまちづくり | 所管部署名 | 健康長寿部スポーツ推進課 |
| 施策の展開 | 1 (1)健康・体力づくりの推進<br>2 (2)スポーツ・レクリエーション活動の支援<br>3 (3)スポーツ環境の整備<br>4 (4)多様な分野でのスポーツの活用 | 関連部署名 | |
| 関連する個別計画・方針等 | きらっと吉川21「健康福祉とスポーツのまちづくり」宣言<br>吉川市スポーツ推進ビジョン<br>吉川市スポーツ推進計画 | 施策の目的 | ・誰もが心身の健全な発達と健康の保持増進ができるよう、気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりをめざします。<br>・スポーツの活用により、多様な分野での地域課題の解決をめざします。 |

施策成果指標

| 指標名 | 単位 | 設定時の値（年度） | 実績値（年度） | 目標値（年度） | 達成率 | 最終目標値（年度） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 18歳以上で週1回以上の頻度で運動やスポーツを行っている市民の割合（市民意識調査） | % | 50.9<br>R3 | 52.9<br>R7 | 58.4<br>R7 | 90.6<br>R7 | 60<br>R8 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

施策の評価

| 評価方法 | | 評価の理由・説明 | 評価点 |
|---|---|---|---|
| 評価軸 ①施策の進捗状況 | ☐ 順調<br>☐ おおむね順調<br>☑ やや順調でない<br>☐ 順調でない | 目標値には届かないものの、一定の水準を保っており、施策の成果は一定程度得られているものと考えている。 | 2 |
| 評価軸 ②市民ニーズの反映度 | ☐ 反映できた<br>☑ どちらかといえば反映できた<br>☐ どちらかといえば反映できなかった<br>☐ 反映できなかった | 市スポーツ推進委員や関係団体の意見、利用者やイベント参加者の声を丁寧に聞き取り、適時事業内容等の見直しを行っている。 | 3 |
| 評価軸 ③施策に対する事務事業の構成 | ☑ 妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当であった<br>☐ どちらかといえば妥当でなかった<br>☐ 妥当でなかった | 気軽にできる運動への参加機会提供から各種スポーツ団体の支援まで、幅広い事業で構成されており妥当である。<br>※構成する事務事業については裏面に記載 | 4 |

| 施策に関する現状と課題 | 総合評価 |
|---|---|
| ・ライフステージに応じて、心身共に明るく健康で生きがいのある生活を送ることができるよう、引き続きスポーツに親しめる機会づくりや運動の習慣化のきっかけづくりに取り組む必要がある。<br>・引き続き、分散型スポーツ施設の整備を進めるとともに、既存スポーツ施設の適正管理や長寿命化改修など、計画的に進めていく必要がある。 | B：施策の目的が概ね達成されている |

今後の展開

・市民の健康寿命の延伸のため、運動習慣に関する知識の周知・啓発を行っていくとともに、スポーツと健康づくりへの取り組みを一体的に推進していく。
・スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、多くの市民がスポーツに取り組むことのできる機会の確保に努めるとともに、分散型スポーツ施設の整備や既存のスポーツ施設の適正管理、スポーツ団体の継続的な支援など、スポーツ推進計画に基づいた施策を展開していく。

10010207

## 構成する事務事業

| | 事務事業番号 | 事務事業名 | 成果指標 | | | | 事業の方向性（今後の方針） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 成果指標名 | 単位 | R7目標値 | R7実績値 | |
| 1 | 01000346 | スポーツ活動推進事業 | スポーツイベントの参加者数 | 人 | 2,400 | 2,040 | 現状のまま継続 |
| 2 | 01000348 | 学校開放事業 | 利用率 | % | 61 | 58.2 | 現状のまま継続 |
| 3 | 01000349 | スポーツ団体活動支援事業 | スポーツ協会・スポーツ少年団主催事業数 | 回 | 55 | 48 | 現状のまま継続 |
| 4 | 01000351 | 総合体育館管理運営事業 | 利用者 | 人 | 100,000 | 91,977 | 現状のまま継続 |
| 5 | 01000353 | 旭公園球場等屋外体育施設管理運営事業 | 旭公園球場利用者数 | 人 | 11,000 | 11,005 | 現状のまま継続 |
| 6 | 01000355 | 市民プール（屋内温水）管理運営事業 | 利用者数 | 人 | 52,000 | 43,044 | 現状のまま継続 |